

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃげきだんかげぼうし		団体ウェブサイトURL
	株式会社劇団影法師		http://kageboushi.com/
代表者職・氏名	代表取締役 小杉 隆		
制作団体所在地	〒 180-0012	最寄り駅(バス停)	三鷹駅(JR中央線)
	東京都武蔵野市緑町2-1-5		
電話番号	0422-54-7770		
ふりがな 公演団体名	げきだんかげぼうし		団体ウェブサイトURL
	劇団影法師		http://kageboushi.com/
代表者職・氏名	代表取締役 小杉 隆		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体におなじ
	制作団体におなじ		
制作団体 設立年月	1980年12月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役	小杉 隆	演技部15名/文芸演出部2名 制作部3名 面接及びオーディションにより随時採用
取締役	原田 尚幸		
取締役	川田 一彰		
監査役	山崎 祐		

事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	小杉 隆
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	下路雅之
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	mail@kageboushi.com		

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p>1978年 劇団創立。 影絵劇、人形劇を中心に日本全国の児童青少年に向けた幅広い公演活動を開始する。 1980年 株式会社劇団影法師を設立。 現在までに45年間で延べ1,109万人以上の観客に当劇団の作品をご鑑賞頂いております。 1988年以降 国際的な視野にたち、現在までに世界16カ国の劇団と23作品の国際共同制作を行い、海外公演は16作品を28カ国84都市において実施しております。</p> <p>これら国際的な功績により、平成16年には日本の演劇団体として、初めて外務大臣表彰を受けました。</p> <p>【劇団影法師 主な受賞歴など】 外務大臣表彰／東京都優秀児童演劇選定優秀賞／(公社)日本演劇協会優秀賞／(公財)都民劇場優秀賞／厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財／上海国際児童演劇祭 最優秀賞・ベストクリエイティブ賞／文化庁優秀舞台芸術奨励事業／こども芸術劇場／本物の舞台芸術体験事業／次代を担う子どもの文化体験事業等採択</p>			
学校等における 公演実績	<p>1978年より学校公演を開始、2023年まで45年間で52作品21780公演、約810万名の児童・生徒さんにご鑑賞頂いた実績があります。</p> <p>(直近) 2020年(令和2年) 8作品 91公演 86,087名 (幼・保・こども園16公演、小学校63公演、中学校1公演、自主公演2公演) 2021年(令和3年) 9作品 237公演 49,196名 (幼・保・こども園18公演、小学校189公演、中学校4公演、高校11公演 自主公演15公演) 2022年(令和4年) 5作品 421公演 83,031名 (幼・保・こども園18公演、小学校369公演、中学校14公演、自主公演20公演) 2023年(令和5年) 7作品 451公演 109,072名 (幼・保・こども園7公演、小学校411公演、中学校9公演、自主公演24公演) 2024年(令和6年) 7作品 500公演 100,000名(予定) (幼・保・こども園10公演、小学校450公演、中学校20公演、自主公演20公演)</p>			
特別支援学校等における 公演実績	<p>高知県立高知若草特別支援学校/福島県立いわき支援学校/福岡市立屋形原特別支援学校 大阪府立平野支援学校/山梨大学教育学部附属特別支援学校/千葉県立つくし特別支援学校 千葉県立東金特別支援学校/茨城県立境特別支援学校</p>			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有		
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/7XyW4s9ZSTs		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし	
		PW:	なし	

別添	あり			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 劇団影法師】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	消える、現れる、変身する！妖怪影絵を楽しもう！			
企画のねらい	<p>本作品は、実際に児童・生徒のみなさんに体験・理解・参加しながら鑑賞頂くことにより、国際理解（他国文化を知る）や、自ら演劇等をする場合、様々な要素で舞台が完成していくことの意味を深めることができます。また、本作品は、《人間の心》をテーマに影絵劇として作り上げました。“見えんけどおる”水木先生の言葉の意味を考え、いろいろな妖怪を通して、子ども達が『本当に大切なもの』を感じてもらえるものと考えています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>【演目概要と特徴】</p> <p>ユネスコ世界無形文化遺産にも登録されている皮影戯（ピーインシー）は、千二百年の歴史ある色彩豊かな美しい影絵劇です。また、使用する人形は牛の皮に、細かな彫刻を施し、彩色し、まるで生きているかのように細工された独特の人形となっています。</p> <p>☆だれもが知っている名作を、伝統的な手法・表現を取り入れて作られた今までにない作品です。また、原作者である水木しげる氏のキャラクターによるテーマ性のある深いストーリーも魅力的な作品となっています。</p> <p>☆影絵だけでなく、俳優による前芝居（骨董屋の店主役、小学生のユウト君役、鬼太郎人形役）があり、ストーリーが展開していきますので、スクリーンプレイだけでなくライブ感あふれる立体的な影絵芝居となっています。</p> <p>☆生演奏（琵琶・尺八等）による伴奏の効果音等の演出も加わり、「ゲゲゲの鬼太郎」の世界観が、よりひろがる作品となっています。</p> <p>☆日本にはない特殊な技法で、人形が大きくなったり、小さくなったり、消えたり、現れたりする魔法のような影絵芸術と言われています。まるで生きているように動く人形の動き、リズム感を取り入れた多彩な表現は、児童生徒さんの想像力を掻き立てて本作品をより興味深く見て頂けると思います。</p> <p>☆8m×4mの大型スクリーンが映し出す、鮮やかな色彩と芸術的な人形の臨場感あふれる“見たことのない美しさ”</p> <p>（プログラム）</p> <p>第一部：妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」・・・50分</p> <p>あらすじ</p> <p>怪しげなおじさんに、骨董屋に鏡を持っていくようにいわれた主人公ユウト。初めて行く店の中にあるいろいろなものに興味深々だが、そんな中、店の隅に座っている古い人形と目が合います。ユウトは、何やら人形と話をはじめますが、持ってきた鏡が突然光を放ち一瞬にして、ユウトは鏡の中に吸い込まれ、不思議な空間に投げ出されます。そこで、出会う妖怪たちの魅力に引き込まれていくユウト。妖怪たちが欲しがっているものは、人間の心。魂（心）を狙われているユウトを助けようと鬼太郎と仲間たちが立ち上がります。自分も妖怪族の一員である鬼太郎が、なぜ人間たちの味方をするのか？ユウト（人間）と鬼太郎（妖怪）の心に何かが芽生え始めます。</p> <p>第二部：珍しい影絵の世界を紹介・・・20分（共演作品）</p> <p>寓話「2匹の子ヤギ」・・・共演用にアレンジされた小作品です。（児童・生徒さんによるアテレコ）</p> <p>ある日、二匹の子ヤギが小さな橋のたもとで出会います。二匹とも橋を渡りたいのですが、その橋はとて狭く、細くて、一度に一匹ずつしか渡れません。でも二匹は早く渡りたくて、お互いに譲りません。そして、ついに二匹とも川の中に落ちてしまいます。</p> <p>※終演後、バックステージ見学あります。</p> <p>本作品は、「魔法のような芸術」と称されるアジアの伝統影絵芸術作品です。2011年11月に国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産リストにも登録されました。日本の現代影絵の技術をもった劇団影法師との伝統影絵芸術の共同製作によって誕生した本作品は、現代にマッチした伝統影絵芸術として好評を得て、2013年より、700公演、426校、176,486名の児童・生徒の皆さんにご鑑賞頂きました。</p>			

	<p>【演目選択理由】</p> <p>本作品は、ユネスコの無形文化遺産に登録されている世界的に有名な伝統影絵の手法を取り入れています。アジア独特の影絵芸術の真骨頂ともいえる要素が詰まっています。</p> <p>また、この影絵芸術は、人形の仕組み、操作方法、表現方法がわかりやすく体験できるため鑑賞にとどまらず、児童・生徒さんの体験により、自ら新たなオリジナル影絵等の創作に取り組みやすい作品の為、選択致しました。</p> <p>※普段見ることができない芸術作品を鑑賞し、触れて頂くことは年に1回の芸術鑑賞会にはふさわしい作品かと思えます。日本国内で、この影絵劇を上演している劇団は、当劇団のみとなります。</p>					
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>第二部の「珍しい影絵の世界を紹介」部分での共演・参加になります。</p> <p>骨董屋の主人役の役者と、基本ワークショップに参加した児童・生徒の皆さんとの共演になります。</p> <p>①まず、共演の児童・生徒さんに、本作品の伝統影絵（皮影戯）ピーインシーについて、説明をお願い致します。</p> <p>②そのあと、共演作品「2匹の子ヤギ」の演技を劇団メンバーとともに共演頂きます。この際、ワークショップで製作した人形なども使用して頂きます。</p> <p>※上記に共演する児童・生徒には、台本に基づいて、人形操作、人形の動きに合わせたセリフ、効果音出し、人形のしくみなどの説明など分担して行って頂きます。</p>					
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	20～30名（舞台裏体験・見学は全員）		
			鑑賞人数目安	800名		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>演目：妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」</p> <p>原作：水木しげる / 音楽：五十嵐白林 / 演出・人形美術：柴広義/脚本：さらだ たまこ</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>					
出演者	<p>次年度予定メンバー</p> <p>柴広義・葛西千里・中條志保・青木慎治・山中将靖・廣岡綾・菱本幸二（伴奏）・五十嵐白林（伴奏）</p>					
演目の芸術上の中核となる者（メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等）の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>演出・人形美術：柴広義</p> <p>中国河北省唐山市芸術学校卒、中国国家二級舞台美術舞台美術設計師として活躍、1997年来日。数々の皮影戯の人形・舞台美術を製作。現在演出家、美術講師、皮影戯演技者として活動しています。（1990年河北省皮影戯「鶴童」にて、背景、人形デザイン一等賞、人形彫刻二等賞を受賞。2013年日本華僑華人芸術家作品展皮影作品「齊天大聖」優秀作品賞を受賞。他</p> <p>音楽・伴奏：五十嵐白林</p> <p>音楽家・歌手・ベーシスト・琵琶演奏家。琵琶演奏者の母と詩吟家の父を持ち2歳から琵琶唄/詩吟/民謡を習い、現在邦楽/洋楽を問わず音楽製作/監修をしている。日本琵琶楽協会会員</p>					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 7 名	運搬		積載量： 1.5 t		
	スタッフ： 1 名			車長： 7 m		
	合計： 8 名			台数： 1 台		
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時	13時～14時20分	10分	15時～17時	17時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月		7月		8月	
	21日		22日		20日	
	10月		11月		12月	
	22日		18日		23日	
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計	165日	



影絵（8m×4mのスクリーン）体育館フロアに設置



尺八・琵琶による生演奏・伴奏・他効果音の演出



人形製作風景



興味深々のバックステージ、どうなってるの？



共演風景



共演作品（アフレコ挑戦）（2匹の子ヤギ）

公演に係るビジュアルイメージ（舞台の規模や演出がわかる写真）

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	原作使用
	該当事項がある場合	権利者名 水木プロダクション	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

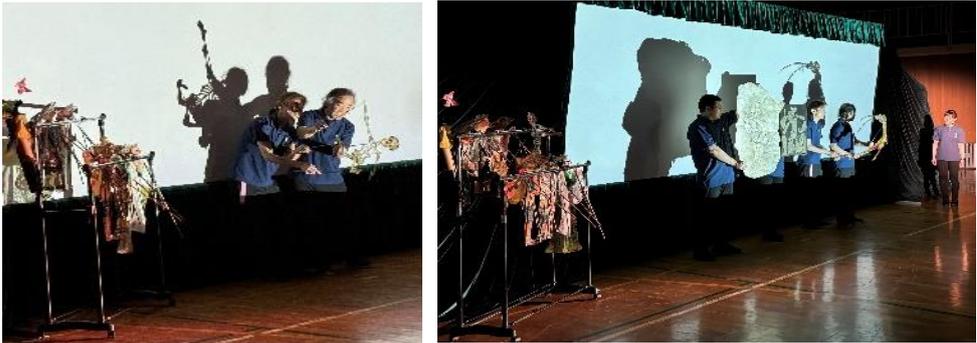
※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団影法師 】

ワークショップのねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・影の表現の多様性と珍しい皮影戯（ピーインシー）の面白さを実感してもらい、本公演の時、その仕組みや面白さについての説明をして頂きます。 ・人形を操作しての演技を実感して頂き、本公演で共演して頂きます。 ・人形を実際に作ることによって、操作の方法、人形の仕組み、動きの独特なおもしろさや、創造力などを実感して頂きます。 ・影絵劇を作る基本要素、アフレコ、舞台セット、人形操作、音楽、効果音、タイミング、共演者との掛け合いなど体験を通して理解して頂きます。 		
-------------	---	--	--

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名～30名
--------------	---------	--------	---------

	<p>標準：90分</p> <p>①影絵人形劇の種類や世界にある伝統影絵劇の説明の後、皮影戯（ピーインシー）の仕組みなど、実際の人形を見せながら説明します。</p>  <p>②本公演に出てくるキャラクターについて理解してもらいます。 人形操作、人形の仕組み解説。※児童・生徒からの質問など</p>  		
--	---	--	--

ワークショップ
実施形態及び内容

③本公演のとき、共演してもらおう小作品「二匹の子ヤギ」の模範演技をてもらいます。



アフレコの模範演技

簡単なテキストとDVDをお渡しして、児童・生徒さんに本番までに練習して頂きます。



④共演用の人形製作を製作して頂きます。



皮影戲（ピーインシー）人形の作り方

【カエルの作り方】

《材料（ざいりょう）》

- ・プラスチック板（設計図付）…1枚
- ・ネジ（ネジリベット）…8本
- ・わゴム（直径1cmぐらい）…2個
- ・針金（30cm）…2本
- ・わりばし…1ぜん（わって、1本ずつ使います。）
- ・テグス（約12cm）…1本
- ・布のテープ…てきりょう



《道具（どうぐ）》

- ・はさみ
- ・ラジオペンチ
- ・油性（ゆせい）マジック
- ・コピー紙1枚（したじき用）
- ・穴あけパンチ又はキリ



【注意（ちゅうい）】
※はさみやラジオペンチを使う時は、ケガをしないようにじゅうぶんに注意してください。
※電線でキリをあつかう時は、かならず大人に指導（しどう）をしてもらってください。

人形製作キット（テキスト）見本



⑤共演の為に、人形操作体験をして頂きます。



世界の影絵



影絵は、日本だけでなく、世界各地に伝統影絵劇の文化が残っています。
調べてみると、もっと影絵が面白くなるよ！

- 中国・台湾・・・「皮影戲（ピーインシー）」
- ギリシャ・・・「カラギョーゼス」 トルコ・・・「カラギョズ」
- タイ・・・「ナン・ヤイ」と「ナン・タルン」の2種類
- カンボジア・・・「スパエク・トム」と「スパエク・トーイ」の2種類
- インドネシア・・・「ワヤン・クリッ」（ジャワ地方、バリ地方など数種類）
- インド・・・「トール・ボンマラータ」（インド南部、アーンドラ・プラデーシュ州他数種類、現存する世界中の影絵人形のなかでは最大）

その他ワークショップに関する特記事項等

別添	なし
本事業への応募理由 【公演団体名 劇団影法師】	
本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>当劇団は、1978年より45年間、児童青少年への観客層を中心に、小学校から高等学校まで、教育機関における芸術鑑賞教室に主軸をおいた活動を続けております。現在までに、延べ1100万人以上の児童・青少年の観客に数多くの作品を鑑賞頂いています。まさに、本事業の目的である身近な芸術体験や発想力、コミュニケーション能力の育成、芸術家の育成、芸術鑑賞能力の育成等に合致する活動に長年取り組んでまいりました。</p> <p>このような劇団の活動から感じることは、各公演地の状況に合わせた柔軟さ、先生・児童・生徒をはじめ、PTAの方々や地域とのコミュニケーションの大切さです。本事業への取り組みにつきましても、制作担当者に学校を訪問させるなど現場とのコミュニケーションを積極的に行っていきたいと考えています。また、本事業に対しては教育現場で実績のあるクオリティの高い作品の提供をさせて頂き本事業に取り組む所存です。</p> <p>劇団影法師は、地域と密着した文化創造活動の支援・協力も行っています。このような経験と実績を踏まえ、事業終了後も地域に根差した文化活動として貢献できる基盤をより強化すべく、積極的に本事業に取り組みたいと考えています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>実施校とのコミュニケーションが重要であると考えます。児童、生徒、教職員などとの連携及びコミュニケーションをとるために、下記内容を行いたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前にワークショップ及び本公演についての確認書類をお送りし事業内容の確認を行います。 ●電話での確認後、当劇団の制作担当者が実施校に赴き、打合せを行います。 ●児童、生徒のワークショップ及び共演などを円滑に行う為、指導用の映像教材や人形製作用のテキストを準備し活用致します。尚、ワークショップも体育館で実施し本公演の会場条件の下見なども行います。 ●打合せ後に、各学校の実情にあった共演のための準備を行います。 ●実施校が保護者や地域の方々に広報しやすいように、各種宣伝材料を提供致します。 ●事前に、制作担当者が教育委員会等を訪問し、連携して本事業のPRに取り組み、本事業のより一層の効果向上を図ります

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2 【公演団体名 劇団影法師】



プログラム

上演時間 **80分**

【第一部】
 妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」……50分
 ～休憩～
【第二部】
 珍しい影絵の世界を紹介(共演作品)……20分



【第二部】
 珍しい影絵の世界を紹介(共演作品)……20分
 舞台「二世の子ヤサギ」
 ある日、二世の子ヤサギが小さな機織のまもどで出会います。二世とも機織を愛かいたいのですが、その機織はとも離れて、一面に二世すっぴか遊ばせません。でも二世は早く遊ばせてお互いに離りません。そして、ついに二世とも川の中に落ちてしまいます。

おらすじ
 僅しけなおしきながら、骨董店に機織を持っていくように言われたユウゴ、はじめて行く店の隣に座っている古り(秘)と目が合います。その時、持ってきた機織が突然光を放ち、ユウゴは顔に映り込まれ不思議な空間に投げ出されます。そこで、出会う妖怪たちの機織に引き込まれていくユウゴでしたが、妖怪たちが嫉妬かかっているのは、人間の心(魂)魂をわねられているユウゴを助けようとする鬼太郎と仲間たち立ち上がり、自分も妖怪隊の一員である鬼太郎がなぜユウゴ(人間)の味方をするのかユウゴと鬼太郎の心に向かひか身を生え始めます。

体験型ワークショップの機織も一緒に体験して下さい



体験

普段、見ることでできない
 芸術を体験して下さい。
 人形を動かしたりする技術や竹の機織による独特の操作の技は、日本にない技術です。

皮影劇の魅力(皮の影のお芝居)

国連教育科学文化機関(ユネスコ)が2011年11月に中国影絵芝居を人類の無形文化遺産リストに登録しました。

美しい色彩
 皮を彫刻し彩色した芸術的な人形、生きていくような動き、素朴に皮を使い、随分があることによる柔軟な動き。

変幻自在
 人形を動かした独特の照明技法と竹の機織による巧みな操作技法により、大型スクリューの全面を動きまわり、消えたり、変身したり、大きくも小さくもなれる変幻自在の演技。



中国影絵美術家 栗 廣華

公演ビジュアルイメージ